

「JAバンク茨城子ども食堂応援助成2023」活動報告書

活動名	五台子ども食堂
団体名	五台子ども食堂
この活動で取り組んだ地域の課題や背景（※）	五台地区は三世帯同居や近居など比較的家庭環境に恵まれた地域です。それでも貧困やネグレクトによるお腹を空かせた子どもがいるため、子ども食堂の需要があると学校の先生からお伺いしました。 また、コロナ禍で子ども会の加入率は激減、希薄なコミュニティとなり、子ども達が集う場が減っています。しかし小学校からほど近いセンターには週末になると子どもたちが集い元気に遊んでいます。なんとなく気付いたらみんな集まっている…そんな子どもたちの居場所になれたらと思っています。
この活動の目的（※）	お腹を空かせた子どもたちに手作りで栄養バランスを考慮した食事を提供します。貧困世帯の支援はもちろん、家族や子ども同士又は地域で共食の場を提供することでコミュニケーションの機会を作り子どもたちの成長を支えていきたい。
活動の対象（※）	まずは五台地区の小学生が対象ですが、その上の中高生はもちろん、それを取り囲む親世代や祖父母世代もどんどん巻き込んでいけたらいいなと考えています。
実施内容	毎月1回の開催。毎回60名～100名の方に参加いただきました。 8月からは体験活動も開催、講演会や工作などの体験(30～60名)を提供しました。
活動実施後の成果	まず毎月1回を定着させることを第一に行いました。小学校にチラシを配布、毎月楽しみにしてくれている子どもたちがいることが励みとなっています。また、地域のお祭りなどに出席し地域と密着した関係を築いています。
今後の展望や新たに増えてきた地域課題	今月から学習支援教室を開催、夕方勉強をして晩ご飯の食卓を囲む活動を追加いたします。学習支援はもちろんですが孤食の防止を期待したいです。今春からは近所の畑をお借りできることになったので、農業体験を行います。 また、子どもを集めるのはもちろんですが、より多くの問題を抱える子どもたちに届けるため、子ども会や自治会などはもちろん小中学校や幼稚園なども巻き込んで輪を広げる方法を考えていきます。
寄付者への一言（※）	全て持ち出しのマイナスからスタートした不安定な私たちをご支援頂き、単なる助成金ではなく、不安な中に光が差し込むような心強いご支援となりました。心からの御礼を申し上げます。ありがとうございました。 お陰様でこの一年でひとつの軌道に乗せることができました。子どもたちのために基本の活動をしっかりと行いながら、さらなる活動を上乗せして地域貢献できるよう着実に活動して参ります。

※ 申請書から転記いただいて構いません。

「JAバンク茨城子ども食堂応援助成」活動報告書

自己評価 (いずれかに ○を記入)	A. ○目標を超える成果を得ることができた B. ほぼ目標どおりの結果となった C. 残念ながら目標を達成できなかった D. その他 ()
自己評価で C を記入された 場合、その理由	

※ 欄の大きさは自由に変えていただいて結構ですが、全体で 2 ページ以内となるようご配慮ください。

※ 活動の様子がわかる写真数枚のデータを別途ご送付ください。

※ その他必要に応じて補足書類をご提出ください。